

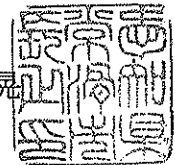
国土交通省道路局長 殿



平成19年5月7日

常滑市長

石橋誠晃



中期的な計画に関する意見について（回答）

先日依頼のありました「今後の道路政策や道路の整備・管理について」を下記により回答しますので、よろしくお取り計らいくださいますようお願いいたします。

記

1 優先度の高い施策について

○常滑市は、中部国際空港の立地を生かした「空港と共生するまちづくり」を進めており、空港へのアクセスの向上を図る道路整備が特に重要である。

○具体的には

・名古屋方面からのアクセスの向上を図り、知多半島道路の代替ルートとなる西知多道路

・三河方面からのアクセス道路としての都市計画道路常滑半田線、衣浦岡崎線及び名浜道路

・知多半島南部からのアクセス道路としての国道247号バイパスである。

○また、渋滞対策、事故対策としての交差点改良、通学路等の歩道整備も必要である。

2 効率化を図る上で重視すること

○建設コストだけでなく、今後増大が予想される維持管理コストの削減が必要である。

○また、限られた資源を有効に利用するため、リサイクル材の活用が重要である。

以上